



ABLE2012

Agents for Bridging between Learning Research and Educational Practice



About ABL

ABLE(Agents for Bridging Learning research and Educational practice)は、教育にイノベーションを引き起こすために、志ある人々をつなぐ国境を越えたコミュニティづくりを目指します。
 認知科学を中心にさまざまな領域の研究者、教育実践を日々行っている人々、社会変革の担い手となるべく強い思いを抱いている人々を橋渡しし、理論、知識、経験をシェアし、新たな知を創造してゆきます。

Organizers

今井むつみ (慶應義塾大学) 岡田浩之 (玉川大学) 市川力 (東京コミュニティスクール) 井庭崇 (慶應義塾大学)

Program

-Session1: 科学的思考力を育てる教育: 探究し、論理判断する力をどう高めるか?
 —Education for Thinking (Argumentation and Inquiry)

Speakers: Elizabeth Jewett & Stephanie Ramsey (Columbia University)
 Chair: 安西祐一郎 (日本学術振興会)

-Session2: 探究心の素地を作る教育実践

—Education for Building the Foundation of Inquiry Mind

Speaker: 市川力 (東京コミュニティスクール)
 Chair: 小寺隆幸 (京都橘大学)

-Session3: 探究教師としての熟達: 現場教師をどうトレーニングするか?
 —Professional Development for School Teachers

Speaker: Henrik Saalbach (ETH Zurich)
 Chair: 今井むつみ (慶應義塾大学)

-Panel Discussion: 「21世紀に求められる科学的思考能力と教育」

—Scientific Thinking and Education for 21st Century

Panelists: 新井紀子 (国立情報学研究所)
 安西祐一郎 (日本学術振興会)
 今井むつみ (慶應義塾大学)
 小寺隆幸 (京都橘大学)

Moderator: Tom Merner (同志社国際学院)

ABLE2012 Core Concept "Can we have a SMILE?"

今回のテーマは

"SMILE (Scientific, Mathematical, Inquiring, and Logical Epistemology)"
 「科学的、数学的なものごとの捉え方、認識をどう育てるか」です。

世の中は複雑化、不透明化し、すべての人が数学的・科学的に考えなくてはならなくなりました。にもかかわらず、数学的・科学的思考力の定義づけすらあいまいで、単なるスキルの教授を超えてどのような準備・学習を行ったらよいのか、全く道筋は見えていません。

では、求められる数学的・科学的思考力とはどのようなもののでしょうか？
 私たちはこの認識をどう育ててゆくべきでしょうか？

アメリカ・スイス・日本の先進的事例に基づいて徹底的に議論します。

Contact Info.

Imai Lab.
 @ Keio SFC

Mail: able2012@keio.to
 Web: cogpsy.sfc.keio.ac.jp/able/
 twitter: @ABLE_2012
 Facebook: [ABLE2012](https://www.facebook.com/ABLE2012)

**Join the community!
 Come to ABLE2012!**

